

Mizumaki International Association

# 水巻町国際交流協会

会報 22号  
2024年3月1日発行

## 2023年度会員数

賛助会員 8団体

一般会員 249名 (262口)

(2024年3月1日現在)



国際交流ウォークの様子



水巻町国際交流協会  
会長 田中和喜

### 「継続は力なり」

この言葉は、久留島武彦記念館館長の金成妍（キム・ソンヨン）さんが、協会の文化サロンにて紹介された著書『久留島武彦評伝』の中にあるものです。久留島武彦は、日本のアンデルセンと称される童話作家で「考えは力なり」が重要な価値観とされていました。しかし、ある時「どんなによい考えをもっていても、継続しない考えは役に立たない」と気づき「継続は力なり」を自分の信条とするようになりました。久留島武彦が子どもたちに伝えた共生や認め合うという教えは、今なお有効であり、我々にも大きな示唆を与えてくれます。

水巻町国際交流協会では、外国語講座、交流イベント、講師派遣やキッズクラブ等を通じて、多文化共生社会を推進しています。

「継続は力なり」ぜひ皆様と一緒に学びを深め、水巻の国際交流ライフを楽しんでみませんか？

|           |                           |  |  |  |
|-----------|---------------------------|--|--|--|
| 賛助会員（順不同） | 株式会社 清川産業<br>TEL 202-2929 | 言いたいことが言える<br>社会福祉法人 松快園<br>TEL 201-8800 | 働きやすい職場環境<br>水巻町職員労働組合<br>TEL 201-4321 | 医療法人 森田医院<br>TEL 201-0616                |
|           | とよさわクリニック<br>TEL 201-7171 | (有) 山田建設興業<br>TEL 202-2530               | (株) サンエイ<br>TEL 202-1190               | 人による人にまでの教育<br>学校法人 福原学園<br>TEL 693-2083 |



## キッズプログラム



### English サマー スクール

ランチも自分たちで

ついに復活のサマースクール！フィリピン、オーストラリア、アメリカ、カナダの先生方を迎え、まずは恒例のウォークラリー。子どもたちは、すぐに先生方と仲良くなり、積極的に英語で質問をしていました。お店屋さんごっこや調理実習を通して、英語での交流はますます盛んに！水風船を使ったチーム対抗戦では的になった先生たちが全身びしょびしょになりつつも一番盛り上がりしていました。

### ZOOMでインド交流



### 町内のゴミの研究



今年度のキッズクラブは、インドとの交流を主軸に活動を展開しました。水巻町内を歩き回ってゴミを集め、どこに何のゴミがあったか調べたり、日本とインドのゴミ問題について勉強しました。オンラインで現地の子どもたちとも交流し、「どんなアニメを見ていますか？」といった素朴な疑問から、「町をきれいにするために、どのような取り組みをしているのか？」という環境問題に至るまで、学生と言葉を交わしました。

### ゴミ問題にスポット インド交流

## ウィンター スクール

今年度は、過去最多の6カ国について学ぶ、実に多彩なプログラムとなりました。アラビア文字で自分の名前を書いたり、各国のユニークなゲームに興奮したり、絵を描いたり、手作りクレープを頬張ったりして楽しく過ごした、あっという間の2日間。ベトナム、フィリピン、インド、スーダン、シリア、そしてフランスを巡る旅を終え、子どもたち一人ひとりが、充実感溢れる表情を浮かべていたのが印象的でした。



クレープ作り

バンブーダンスで大盛り上がり

初ヨガ体験

発行 水巻町国際交流協会  
〒807-0022 福岡県遠賀郡水巻町頃末北1-1-2  
水巻町中央公民館2F  
TEL 093 201 4321 FAX 093 201 4424  
Email info@mizumakikokusai.jp



Instagram



LINE

編集後記  
2023年度は、過去最多の6カ国について学ぶ、実に多彩なプログラムとなりました。アラビア文字で自分の名前を書いたり、各国のユニークなゲームに興奮したり、絵を描いたり、手作りクレープを頬張ったりして楽しく過ごした、あっという間の2日間。ベトナム、フィリピン、インド、スーダン、シリア、そしてフランスを巡る旅を終え、子どもたち一人ひとりが、充実感溢れる表情を浮かべていたのが印象的でした。

# 国際交流教室

「相手のことを知る、自らを主張するの二面が成り立つことで交流がはじまる。」子どもたちの国際交流への第一歩を応援しています。

## モンゴル教室

2年生の子どもたちが、国語の授業で学習した『スーホの白い馬』の物語が展開するモンゴルについて学びました。スーホの名前の意味や、挨拶や食べ物、そしてモンゴルの大草原について話を聞いたり、馬頭琴の生演奏を聴いたりすることができ、子どもたちは大興奮でした。



3年生の子どもたちがキム先生から韓国の挨拶、服装、食事、遊びなどを学びました。キラキラとした目で質問したり、昔遊びに熱中したり、民族衣装をはにかみながら試着したりと韓国文化を満喫しました。

## 韓国教室



## アンちゃん出張授業



北九州市立大学准教授のアンクレシーニさんによる出張授業を実施しました。小学校の5～6年生を対象に、多様性社会における固定観念を持たず交流することの大切さや、和製英語の面白さなど理解を深めました。



サイン攻めのアンちゃん

## 留学生とともに 神楽見学

10月9日、中国からの留学生と会員で猪熊の鷹見神社へ神楽見学に行きました。社殿では太鼓、笛の楽曲に合わせて神話を元にした演目が奉納されました。学生たちは普段体験できない神楽に興味深々の様子で最後には餅や菓子などが撒かれ、大変盛り上がりしました。



## 4年ぶりにぎわい

## コスモスまつり



10月21日と22日、みどりんぱあーくでコスモスまつりが開催され、九州共立大学の学生とATCyabukoujiさんがコラボしたカップケーキや、芦屋町の「きみちゃんキムチ」を販売し、大好評で完売しました。



がんばって作ったマフィンも完売!



10月14日、総勢56名が南部公民館を出発しました。田んぼのあぜ道を歩き、八剱神社で砦姫伝説や稲作発祥の地、遠賀川の歴史解説を聞きました。お弁当を食べながら舞台上でイメージさんのフルーツ演奏と韓国の舞踏集団ビビムタチャンゴ教室さんの演奏を鑑賞した充実の秋の一日でした。



## 韓国民団の皆さんと 国際交流ウォーク

8月8日、会員、教職員、役場職員が参加して、外国人に伝わりやすいやさしい日本語ワークショップを開催しました。震災時の教訓として簡単な日本語が一番役に立つと実証されています。その方法を学んだ後、留学生を招いて、わかりやすい会話を心掛け楽しく談笑しました。



## やさしい日本語 ワークショップ

日本語で伝えてみよう

## Gサポ



シルバー世代のボランティアの精鋭たちがオランダ交流記念のバラの原木を挿し木で増やし「日蘭友好のバラ・ゾーン」にする活動を開始しました。愛情をかけた甲斐があり、春と秋に上品な赤いバラがたくさん咲きました。また、ウインタースクールではフィリピンの遊具を作成しました。本物の竹を使ったバンブーダンスや竹格子を使ったゲームは子どもたちに大好評でした。



竹取りから制作まで

オランダ交流記念のバラ

# イチョウフェスタ2023



## ロシナンテス 川原尚行氏 講演会

～戦乱のスーダンでの医療支援  
諦めたら終わり



1月14日、イチョウフェスタ2023を開催しました。内戦中のスーダンに外務省医務官として2002年着任した川原尚行氏は医療・住環境の悲惨な現実を目の当たりにし、医療従事者として私財を投げ打ち、仲間とロシナンテスを立ち上げられました。診療所建設・給水整備・教育機会の提供等、地域に根差した活動についてのお話や、これからはブレることのない信念を熱く語っていただきました。そして最大の医療は「戦争をしないこと、させないこと」と締めくくられ、講演会は幕を閉じました。

また、ロビーではマルシェを開催、同時にモンゴル馬頭琴奏者のマンダルワさんの音色が響き、手拍子と共に会場が和みました。

川原氏の講演は共感を呼び、来場者からの募金とキッズクラブのレモネードスタンドの売り上げを合わせ、147,710円をロシナンテスへ寄付しました。



マルシェでは馬頭琴の演奏



キッズクラブレモネードスタンド

## 116名が学ぶ外国語講座 語学講座

- ★日本語教室  
金曜日に、入門・中級の外国人向けの授業を行っています。
- ★英語でおしゃべりカフェ  
火曜日・水曜日・金曜日にフリートーキングクラスを行っています。
- ★外国語講座  
入門・初中級の9講座（全27回）を開催しました（英語・ハンガリー・中国語）今年度は116名の受講生が学びました。

## NEW! 日本での生活を応援 企業向け日本語教室

水巻町内企業にて月2回のペースでやさしい日本語教室を開催しています。現在インドネシアから3人、スリランカから2人の従業員が参加しています。日本語は漢字が難しいとのことですが、手持ちの辞書は使い込まれていて、しっかり勉強されているようでした。これからも楽しく学んでほしいと思いました。



使い込まれた辞書



## 一直線な生き方に感動の渦 キムソンヨンさん講演会

11月26日、久留島武彦記念館館長の金成妍（キム・ソンヨン）さんをお招きして、講演会を開催しました。ソンヨンさんが日本へ留学したきっかけや、「日本のアンデルセン」と呼ばれた久留島氏を研究するに至った経緯、エピソードなど、軽快なトークに会場は沸きました。



西日本新聞に99回連載された「ソンヨン直線」



9月12日、今年の料理教室は本場のアメリカンクッキング。参加者は本格的なローストチキンと聞いて興味深々でした。数少ない男性参加者が手慣れた女性達の働きにアウェイ感を感じる場面も見られましたが、料理が進むにつれ打ち解けてワイワイと楽しい会となりました。リー先生の素晴らしいご指導で珠玉の4品が完成。どれも大変美味しく手間暇かけた甲斐がありました。（玉葱を小一時間炒めた腕が痛かったとの感想も）



## 英語で本格クッキング 国際料理教室

